

# 平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 兵庫県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ	市町村・組合名	病院名	ページ	市町村・組合名	病院名	ページ
-	尼崎総合医療センター	2	西宮市	中央病院	20	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院日高医療センタ	38
-	西宮病院	3	芦屋市	芦屋病院	21	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院出石医療センタ	39
-	加古川医療センター	4	伊丹市	伊丹病院	22	公立豊岡病院組合	公立朝来医療センター	40
-	淡路医療センター	5	相生市	相生市民病院	23	公立八鹿病院組合	公立八鹿病院	41
-	ひょうごこころの医療センタ	6	赤穂市	赤穂市民病院	24	公立八鹿病院組合	公立村岡病院	42
-	柏原病院	7	西脇市	西脇病院	25	北播磨総合医療センター	北播磨総合医療センター	43
-	こども病院	8	宝塚市	市立病院	26			
-	がんセンター	9	高砂市	高砂市民病院	27			
-	姫路循環器病センター	10	川西市	川西病院	28			
-	粒子線医療センター	11	三田市	三田市民病院	29			
-	災害医療センター	12	加西市	加西病院	30			
-	リハビリテーション中央病院	13	宍粟市	公立宍粟総合病院	31			
-	リハビリテーション西播磨病 院	14	加東市	加東市民病院	32			
-	丹波医療センター（仮称）整 備事業	15	たつの市	たつの市民病院	33			
-	はりま姫路総合医療センター （仮称）整備事業	16	神河町	公立神崎総合病院	34			
神戸市	中央市民病院	17	香美町	公立香住病院	35			
神戸市	西市民病院	18	新温泉町	浜坂病院	36			
明石市	市民病院	19	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院	37			

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	尼崎総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	77,378 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	47	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	714	95.0	97.1	97.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	8	70.5	71.2	78.7
感染症	8	66.3	-	-
計	730	94.4	95.7	96.2
平均在院日数(一般病床のみ)		9.6	9.9	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	35,543,451				
1 経常収益	35,483,003				
(1) 医業収益	31,469,933				
入院収益	22,068,763				
外来収益	8,344,701				
診療収入計	30,413,464				
その他医業収益	1,056,469				
(うち他会計負担金)	392,525				
(2) 医業外収益	4,013,070				
(うち国・都道府県補助金)	107,147				
(うち他会計補助・負担金)	2,515,678				
(うち長期前受金戻入)	1,051,290				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	60,448				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	35,515,823				
2 経常費用	35,189,510				
(1) 医業費用	33,694,334				
職員給与費	16,687,924	53.0	56.0	49.8	
材料費	9,899,448	31.5	24.1	28.0	
(うち薬品費)	4,151,607	13.2	12.6	14.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,566,994	17.7	11.1	12.8	
減価償却費	2,382,135	7.6	9.2	8.3	
経費	4,468,598	14.2	23.2	20.7	
(うち委託料)	2,498,472	7.9	11.3	11.4	
研究研修費	168,952				
資産減耗費	87,277				
(2) 医業外費用	1,495,176				
(うち支払利息)	186,388	0.6	1.6	1.4	
(3) 特別損失	326,313				
損益	293,493				
経常損益	293,493				
純損益	27,628				
累積欠損金	-				
経常収支比率	100.8		98.2	99.5	
医業収支比率	93.4		88.3	92.8	
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.5	9.1	
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.6	10.3	
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.5	9.0	
実質収益対経常費用比率	92.6		86.0	90.4	

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金( )	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本金剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.2
修正医業収支金額(千円)	31,077,408

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,892,468	2,908,203
資本勘定繰入	706,369	3,507
計	3,598,837	2,911,710

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	西宮病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,578 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	400	86.1	86.5	84.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	86.1	86.5	84.2
平均在院日数（一般病床のみ）		9.6	9.7	10.0

設立団体の状況		
人口（人）	5,534,800	
決算規模（千円）	1,831,631,276	
標準財政規模（千円）	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率（%）	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.8
	将来負担比率（%）	339.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.3
修正医業収支金額（千円）	10,825,521

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,539,026			
1 経常収益	12,531,551			
(1) 医業収益	11,254,012			
入院収益	7,775,849			
外来収益	2,788,922			
診療収入計	10,564,771			
その他医業収益	689,241			
(うち他会計負担金)	428,491			
(2) 医業外収益	1,277,539			
(うち国・都道府県補助金)	26,859			
(うち他会計補助・負担金)	816,435			
(うち長期前受金戻入)	350,489			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,475			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,322,677			
2 経常費用	12,306,231			
(1) 医業費用	11,861,736			
職員給与費	6,819,888	60.6	56.0	54.1
材料費	2,713,889	24.1	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,317,755	11.7	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,314,619	11.7	11.1	12.3
減価償却費	645,723	5.7	9.2	8.3
経費	1,591,057	14.1	23.2	19.0
(うち委託料)	697,180	6.2	11.3	9.1
研究研修費	64,027			
資産減耗費	27,152			
(2) 医業外費用	444,495			
(うち支払利息)	91,414	0.8	1.6	1.5
(3) 特別損失	16,446			
損益				
経常損益	225,320			
純損益	216,349			
累積欠損金	2,640,863			
経常収支比率	101.8		98.2	99.3
医業収支比率	94.9		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	91.7		86.0	89.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金（ ）	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本金剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,242,475	1,244,926
資本勘定繰入	580,236	534,788
計	1,822,711	1,779,714

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	22.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	加古川医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,256 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	28	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	345	79.6	83.6	85.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	-	-	-
計	353	77.8	81.7	83.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.7	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収支金額(千円)	10,321,794

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,731,569			
1 経常収益	12,717,712			
(1) 医業収益	10,685,106			
入院収益	6,661,008			
外来収益	3,371,982			
診療収入計	10,032,990			
その他医業収益	652,116			
(うち他会計負担金)	363,312			
(2) 医業外収益	2,032,606			
(うち国・都道府県補助金)	258,165			
(うち他会計補助・負担金)	1,023,140			
(うち長期前受金戻入)	669,959			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,857			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,904,447			
2 経常費用	12,849,582			
(1) 医業費用	12,179,810			
職員給与費	6,312,002	59.1	56.0	57.1
材料費	2,954,395	27.6	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,483,453	13.9	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,405,212	13.2	11.1	11.4
減価償却費	1,033,764	9.7	9.2	9.5
経費	1,813,358	17.0	23.2	22.0
(うち委託料)	1,144,057	10.7	11.3	10.8
研究研修費	37,388			
資産減耗費	28,903			
(2) 医業外費用	669,772			
(うち支払利息)	246,102	2.3	1.6	1.6
(3) 特別損失	54,865			
損益				
経常損益	-131,870			
純損益	-172,878			
累積欠損金	10,529,042			
経常収支比率	99.0		98.2	96.7
医業収支比率	87.7		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	10.9		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	88.2		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金( )	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本金剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,386,452	1,386,452
資本勘定繰入	827,052	827,052
計	2,213,504	2,213,504

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	淡路医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,334 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	28	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	377	89.8	91.1	90.5
療養	-	-	-	-
結核	15	21.1	17.8	16.4
精神	45	64.8	67.3	62.7
感染症	4	-	-	0.3
計	441	84.1	85.4	84.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	13.7	9.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.5
修正医業収支金額(千円)	11,272,478

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,747,722			
1 経常収益	13,745,131			
(1) 医業収益	11,655,751			
入院収益	8,448,303			
外来収益	2,637,061			
診療収入計	11,085,364			
その他医業収益	570,387			
(うち他会計負担金)	383,273			
(2) 医業外収益	2,089,380			
(うち国・都道府県補助金)	63,713			
(うち他会計補助・負担金)	1,232,161			
(うち長期前受金戻入)	697,210			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,591			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,684,258			
2 経常費用	13,681,493			
(1) 医業費用	13,032,140			
職員給与費	6,956,710	59.7	56.0	54.1
材料費	3,048,860	26.2	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,039,023	8.9	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,927,749	16.5	11.1	12.3
減価償却費	1,127,663	9.7	9.2	8.3
経費	1,841,376	15.8	23.2	19.0
(うち委託料)	960,869	8.2	11.3	9.1
研究研修費	44,899			
資産減耗費	12,632			
(2) 医業外費用	649,353			
(うち支払利息)	193,930	1.7	1.6	1.5
(3) 特別損失	2,765			
損益				
経常損益	63,638			
純損益	63,464			
累積欠損金	1,982,627			
経常収支比率	100.5		98.2	99.3
医業収支比率	89.4		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	11.8		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	13.9		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	11.8		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	88.7		86.0	89.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金( )	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本金剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,610,100	1,615,434
資本勘定繰入	613,270	585,870
計	2,223,370	2,201,304

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	兵庫県	
		市町村・組合名		
		病院名	ひょうごこころの医療センター	
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能		
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	22,703 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨	
診療科数	6	看護配置	15:1	
許可公営企業		経営形態	直営	
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	478	43.4	45.6	38.2
感染症	-	-	-	-
計	478	43.4	45.6	38.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	57.2
修正医業収支金額(千円)	2,203,684

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,953,501			
1 経常収益	3,952,101			
(1) 医業収益	2,549,062			
入院収益	1,831,343			
外来収益	357,183			
診療収入計	2,188,526			
その他医業収益	360,536			
(うち他会計負担金)	345,378			
(2) 医業外収益	1,403,039			
(うち国・都道府県補助金)	24,107			
(うち他会計補助・負担金)	1,182,063			
(うち長期前受金戻入)	172,270			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,400			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,039,868			
2 経常費用	4,033,950			
(1) 医業費用	3,850,491			
職員給与費	2,810,923	110.3	56.0	96.0
材料費	165,777	6.5	24.1	8.6
(うち薬品費)	74,337	2.9	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,949	1.2	11.1	1.0
減価償却費	288,361	11.3	9.2	12.5
経費	570,168	22.4	23.2	34.0
(うち委託料)	228,636	9.0	11.3	16.5
研究研修費	13,849			
資産減耗費	1,413			
(2) 医業外費用	183,459			
(うち支払利息)	107,121	4.2	1.6	3.2
(3) 特別損失	5,918			
損益				
経常損益	-81,849			
純損益	-86,367			
累積欠損金	11,570,452			
経常収支比率	98.0		98.2	100.0
医業収支比率	66.2		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	38.6		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	59.9		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	38.6		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	60.1		86.0	66.0

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金( )	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本金剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,527,441	1,527,441
資本勘定繰入	314,034	287,103
計	1,841,475	1,814,544

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	柏原病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,106 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨がへ災輪		
診療科数	18	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	303	52.9	52.4	54.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	303	52.9	52.4	54.9
平均在院日数（一般病床のみ）		11.3	11.6	12.5

設立団体の状況		
人口（人）	5,534,800	
決算規模（千円）	1,831,631,276	
標準財政規模（千円）	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率（%）	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.8
	将来負担比率（%）	339.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	79.7
修正医業収支金額（千円）	4,329,864

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,434,295			
1 経常収益	5,420,271			
(1) 医業収益	4,659,632			
入院収益	3,095,225			
外来収益	1,128,245			
診療収入計	4,223,470			
その他医業収益	436,162			
(うち他会計負担金)	329,768			
(2) 医業外収益	760,639			
(うち国・都道府県補助金)	47,300			
(うち他会計補助・負担金)	534,462			
(うち長期前受金戻入)	112,018			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,024			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,818,112			
2 経常費用	5,630,240			
(1) 医業費用	5,433,004			
職員給与費	3,350,922	71.9	56.0	57.1
材料費	815,898	17.5	24.1	23.9
(うち薬品費)	249,117	5.3	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	541,641	11.6	11.1	11.4
減価償却費	169,402	3.6	9.2	9.5
経費	1,079,183	23.2	23.2	22.0
(うち委託料)	716,975	15.4	11.3	10.8
研究研修費	16,946			
資産減耗費	653			
(2) 医業外費用	197,236			
(うち支払利息)	7,763	0.2	1.6	1.6
(3) 特別損失	187,872			
損益				
経常損益	-209,969			
純損益	-383,817			
累積欠損金	9,440,432			
経常収支比率	96.3		98.2	96.7
医業収支比率	85.8		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	18.5		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	15.9		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	80.9		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金（ ）	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	784,902	864,230
資本勘定繰入	69,739	68,067
計	854,641	932,297

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	22.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	こども病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,820 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨地		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	290	75.0	80.6	72.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	75.0	80.6	72.5
平均在院日数（一般病床のみ）		11.8	12.1	12.5

設立団体の状況		
人口（人）	5,534,800	
決算規模（千円）	1,831,631,276	
標準財政規模（千円）	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率（%）	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.8
	将来負担比率（%）	339.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	76.7
修正医業収支金額（千円）	9,861,130

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,222,166			
1 経常収益	13,265,883			
(1) 医業収益	10,258,219			
入院収益	8,008,231			
外来収益	1,727,577			
診療収入計	9,735,808			
その他医業収益	522,411			
(うち他会計負担金)	397,089			
(2) 医業外収益	3,007,664			
(うち国・都道府県補助金)	80,199			
(うち他会計補助・負担金)	2,057,553			
(うち長期前受金戻入)	772,583			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	956,283			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,395,727			
2 経常費用	13,374,600			
(1) 医業費用	12,855,981			
職員給与費	7,460,286	72.7	56.0	59.3
材料費	1,955,850	19.1	24.1	19.3
(うち薬品費)	888,020	8.7	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,006,202	9.8	11.1	9.2
減価償却費	1,300,645	12.7	9.2	10.3
経費	2,085,209	20.3	23.2	27.6
(うち委託料)	1,037,406	10.1	11.3	12.3
研究研修費	47,281			
資産減耗費	6,710			
(2) 医業外費用	518,619			
(うち支払利息)	165,885	1.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	21,127			
損益				
経常損益	-108,717			
純損益	826,439			
累積欠損金	9,513,542			
経常収支比率	99.2		98.2	96.7
医業収支比率	79.8		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.5		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	23.9		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	17.3		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	80.8		86.0	83.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金（ ）	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,454,642	2,454,642
資本勘定繰入	717,643	45,852
計	3,172,285	2,500,494

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	22.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	
	病院名	がんセンター

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,820 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨ガ
診療科数	23	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	400	71.9	72.5	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	71.9	72.5	76.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.6	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,731,356			
1 経常収益	16,698,000			
(1) 医業収益	15,291,117			
入院収益	7,011,248			
外来収益	7,733,594			
診療収入計	14,744,842			
その他医業収益	546,275			
(うち他会計負担金)	190			
(2) 医業外収益	1,406,883			
(うち国・都道府県補助金)	21,885			
(うち他会計補助・負担金)	928,688			
(うち長期前受金戻入)	369,610			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	33,356			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,580,441			
2 経常費用	16,526,637			
(1) 医業費用	15,807,950			
職員給与費	6,516,543	42.6	56.0	54.1
材料費	6,852,490	44.8	24.1	26.3
(うち薬品費)	5,319,844	34.8	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,460,164	9.5	11.1	12.3
減価償却費	587,874	3.8	9.2	8.3
経費	1,694,670	11.1	23.2	19.0
(うち委託料)	945,661	6.2	11.3	9.1
研究研修費	120,440			
資産減耗費	35,933			
(2) 医業外費用	718,687			
(うち支払利息)	30,395	0.2	1.6	1.5
(3) 特別損失	53,804			
損益				
経常損益	171,363			
純損益	150,915			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.0		98.2	99.3
医業収支比率	96.7		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	5.6		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	5.6		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	95.4		86.0	89.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金( )	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.7
修正医業収支金額(千円)	15,290,927

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	920,851	928,878
資本勘定繰入	252,129	245,143
計	1,172,980	1,174,021

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	姫路循環器病センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,619 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	15	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一 般	330	70.1	66.5	63.2
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	330	70.1	66.5	63.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	13.3	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.0
修正医業収支金額(千円)	11,214,143

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	12,834,069			
1 経 常 収 益	12,828,834			
(1) 医 業 収 益	11,577,492			
入 院 収 益	8,598,764			
外 来 収 益	2,456,198			
診 療 収 入 計	11,054,962			
そ の 他 医 業 収 益	522,530			
(うち他会計負担金)	363,349			
(2) 医 業 外 収 益	1,251,342			
(うち国・都道府県補助金)	1,867			
(うち他会計補助・負担金)	831,379			
(うち長期前受金戻入)	329,780			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	5,235			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	12,741,524			
2 経 常 費 用	12,734,873			
(1) 医 業 費 用	12,195,484			
職 員 給 与 費	5,177,621	44.7	56.0	57.1
材 料 費	4,795,831	41.4	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,333,339	11.5	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,408,586	29.4	11.1	11.4
減 価 償 却 費	581,302	5.0	9.2	9.5
経 理 費	1,572,346	13.6	23.2	22.0
(うち委託料)	822,138	7.1	11.3	10.8
研 究 研 修 費	56,267			
資 産 減 耗 費	12,117			
(2) 医 業 外 費 用	539,389			
(うち支払利息)	16,144	0.1	1.6	1.6
(3) 特 別 損 失	6,651			
損 益				
経 常 損 益	93,961			
純 損 益	92,545			
累 積 欠 損 金	-			
経 常 収 支 比 率	100.7		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	94.9		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	91.4		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	179,980,716
1 固 定 資 産	152,394,741
(1) 有 形 固 定 資 産	142,606,815
(2) 無 形 固 定 資 産	212,758
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	9,575,168
2 流 動 資 産	27,585,975
(1) 現 金 及 び 預 金	2,836,250
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	24,323,700
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	165,585
(4) 貯 蔵 品	445,015
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	177,399,569
1 固 定 負 債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	10,243,441
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	2,855,000
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	19,923,195
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	19,623,302
(1) 長 期 前 受 金	19,623,302
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	-
資 本 合 計	2,581,147
1 資 本 金	22,150,855
2 剰 余 金	-19,569,708
(1) 資 本 剰 余 金	5,661,290
(2) 利 益 剰 余 金	-25,230,998
負 債 ・ 資 本 合 計	179,980,716
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ( )	-
資本不足額(繰延収益控除後) ( )	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,194,728	1,194,728
資本勘定繰入	268,728	264,165
計	1,463,456	1,458,893

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年 度	-	-
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	粒子線医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	16,555 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨		
診療科数	1	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	76.3	78.8	72.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	76.3	78.8	72.1
平均在院日数（一般病床のみ）		34.9	30.0	28.0

設立団体の状況		
人口（人）	5,534,800	
決算規模（千円）	1,831,631,276	
標準財政規模（千円）	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率（%）	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.8
	将来負担比率（%）	339.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	44.6
修正医業収支金額（千円）	1,831,284

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,911,829			
1 経常収益	3,904,219			
(1) 医業収益	1,831,284			
入院収益	1,069,456			
外来収益	707,567			
診療収入計	1,777,023			
その他医業収益	54,261			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,072,935			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	645,022			
(うち長期前受金戻入)	1,409,522			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,610			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,621,210			
2 経常費用	4,615,583			
(1) 医業費用	4,107,088			
職員給与費	816,090	44.6	56.0	71.8
材料費	94,250	5.1	24.1	16.5
(うち薬品費)	20,834	1.1	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	73,338	4.0	11.1	5.6
減価償却費	1,906,764	104.1	9.2	12.2
経費	1,277,736	69.8	23.2	31.2
(うち委託料)	859,126	46.9	11.3	12.3
研究研修費	5,587			
資産減耗費	6,661			
(2) 医業外費用	508,495			
(うち支払利息)	291,799	15.9	1.6	1.9
(3) 特別損失	5,627			
損益				
経常損益	-711,364			
純損益	-709,381			
累積欠損金	4,313,052			
経常収支比率	84.6		98.2	97.1
医業収支比率	44.6		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	16.5		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	35.2		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	16.5		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	70.6		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金（ ）	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本金剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	645,022	645,022
資本勘定繰入	1,906,514	1,906,514
計	2,551,536	2,551,536

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	22.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	
	病院名	災害医療センター

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	6,313 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 へ
診療科数	11	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	30	80.6	84.6	80.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	80.6	84.6	80.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.4	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	923,613			
1 経常収益	923,613			
(1) 医業収益	264,506			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	264,506			
(うち他会計負担金)	264,506			
(2) 医業外収益	659,107			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	434,842			
(うち長期前受金戻入)	224,079			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	923,610			
2 経常費用	923,610			
(1) 医業費用	834,279			
職員給与費	44,485	16.8	56.0	81.3
材料費	-	-	24.1	14.4
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.1
減価償却費	209,571	79.2	9.2	13.4
経費	579,400	219.0	23.2	47.5
(うち委託料)	578,645	218.8	11.3	20.0
研究研修費	-			
資産減耗費	823			
(2) 医業外費用	89,331			
(うち支払利息)	29,349	11.1	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	3			
純損益	3			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.3
医業収支比率	31.7		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	75.7		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	264.4		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	75.7		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	24.3		86.0	64.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金( )	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本金剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	692,741	699,348
資本勘定繰入	403,012	403,012
計	1,095,753	1,102,360

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	リハビリテーション中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,570 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	13	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	520	82.8	83.3	79.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	520	82.8	83.3	79.0
平均在院日数(一般病床のみ)		70.5	70.5	70.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	744,502			
1 経常収益	744,502			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	744,502			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	348,174			
(うち長期前受金戻入)	391,157			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	744,502			
2 経常費用	744,502			
(1) 医業費用	675,564			
職員給与費	21,982	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	374,354	-	9.2	8.3
経費	278,512	-	23.2	20.7
(うち委託料)	278,482	-	11.3	11.4
研究研修費	-			
資産減耗費	716			
(2) 医業外費用	68,938			
(うち支払利息)	30,973	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	46.8		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	46.8		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	53.2		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金( )	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	332,748	348,174
資本勘定繰入	221,810	143,657
計	554,558	491,831

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	
				病院名	リハビリテーション西播磨病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	9,948 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	10	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	100	94.9	95.8	95.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	94.9	95.8	95.3
平均在院日数(一般病床のみ)		86.7	86.7	86.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	365,293			
1 経常収益	365,293			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	365,293			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	176,405			
(うち長期前受金戻入)	188,248			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	365,291			
2 経常費用	365,291			
(1) 医業費用	325,262			
職員給与費	10,388	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	179,544	-	9.2	10.4
経費	135,305	-	23.2	29.9
(うち委託料)	135,275	-	11.3	12.9
研究研修費	-			
資産減耗費	25			
(2) 医業外費用	40,029			
(うち支払利息)	20,584	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	2			
純損益	2			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	48.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	48.3		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	51.7		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金( )	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	166,158	176,405
資本勘定繰入	83,003	65,902
計	249,161	242,307

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	兵庫県
		市町村・組合名	
		病院名	丹波医療センター(仮称)整備事業
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	否
許可公営企業		経営形態	-
DPC対象病院	-	類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	-
材料費	-	-	24.1	-
(うち薬品費)	-	-	12.6	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	-
減価償却費	-	-	9.2	-
経費	-	-	23.2	-
(うち委託料)	-	-	11.3	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.6	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.2	100.0
医業収支比率	-		88.3	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	100.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	100.0
実質収益対経常費用比率	-		86.0	-

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金( )	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	8,027,343	8,027,343
計	8,027,343	8,027,343

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	兵庫県	
		市町村・組合名		
		病院名	はりま姫路総合医療センター (仮称)整備事業	
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況		
診療科数	-	看護配置	否	
許可公営企業		経営形態	-	
DPC対象病院	-	類似区分	建設中	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,534,800	
決算規模(千円)	1,831,631,276	
標準財政規模(千円)	1,055,786,928	
財政力指数	0.64172	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	339.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	-
材料費	-	-	24.1	-
(うち薬品費)	-	-	12.6	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	-
減価償却費	-	-	9.2	-
経費	-	-	23.2	-
(うち委託料)	-	-	11.3	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.6	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.2	100.0
医業収支比率	-		88.3	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	100.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	100.0
実質収益対経常費用比率	-		86.0	-

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	179,980,716
1 固定資産	152,394,741
(1) 有形固定資産	142,606,815
(2) 無形固定資産	212,758
(3) 投資その他の資産	9,575,168
2 流動資産	27,585,975
(1) 現金及び預金	2,836,250
(2) 未収金及び未収収益	24,323,700
(3) 貸倒引当金( )	165,585
(4) 貯蔵品	445,015
3 繰延資産	-
負債合計	177,399,569
1 固定負債	122,260,652
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	112,017,211
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	10,243,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	35,515,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,970,086
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,855,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,923,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,623,302
(1) 長期前受金	19,623,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	2,581,147
1 資本金	22,150,855
2 剰余金	-19,569,708
(1) 資本金剰余金	5,661,290
(2) 利益剰余金	-25,230,998
負債・資本合計	179,980,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	22.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度 )		都道府県名	兵庫県
		市町村・組合名	神戸市
		病院名	中央市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,537,272	
決算規模(千円)	801,142,891	
標準財政規模(千円)	438,756,055	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	71.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	-		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(30年度)</b>		都道府県名	兵庫県
		市町村・組合名	神戸市
		病院名	西市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	1,537,272	
決算規模（千円）	801,142,891	
標準財政規模（千円）	438,756,055	
財政力指数	0.80	
経常収支比率（%）	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.7
	将来負担比率（%）	71.0

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
（1）医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	-			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	-			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
（1）医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	57.1
材料費	-	-	24.1	23.9
（うち薬品費）	-	-	12.6	12.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.1	11.4
減価償却費	-	-	9.2	9.5
経費	-	-	23.2	22.0
（うち委託料）	-	-	11.3	10.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
（2）医業外費用	-			
（うち支払利息）	-	-	1.6	1.6
（3）特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	-		86.0	85.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
（1）有形固定資産	-
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
2 流動資産	-
（1）現金及び預金	-
（2）未収金及び未収収益	-
（3）貸倒引当金（ ）	-
（4）貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
2 流動負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	-
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
（1）長期前受金	-
（2）長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	明石市
	病院名	市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	293,409	
決算規模(千円)	109,465,606	
標準財政規模(千円)	58,815,015	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.8
	将来負担比率(%)	28.1

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,009			
1 経常収益	12,009			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,009			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,009			
2 経常費用	12,009			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	57.1
材料費	-	-	24.1	23.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.4
減価償却費	-	-	9.2	9.5
経費	-	-	23.2	22.0
(うち委託料)	-	-	11.3	10.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,009			
(うち支払利息)	12,009	-	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	85.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	西宮市
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,375 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	24	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	257	50.0	54.5	52.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	257	50.0	54.5	52.9
平均在院日数（一般病床のみ）		10.6	11.5	11.2

設立団体の状況		
人口（人）	487,850	
決算規模（千円）	172,108,135	
標準財政規模（千円）	97,038,384	
財政力指数	0.94	
経常収支比率（%）	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	2.9
	将来負担比率（%）	8.6

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,829,643			
1 経常収益	5,227,649			
(1) 医業収益	4,581,790			
入院収益	2,542,555			
外来収益	1,506,320			
診療収入計	4,048,875			
その他医業収益	532,915			
(うち他会計負担金)	254,089			
(2) 医業外収益	645,859			
(うち国・都道府県補助金)	6,005			
(うち他会計補助・負担金)	599,757			
(うち長期前受金戻入)	8,026			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	601,994			
(うち他会計繰入金)	600,000			
総費用	6,221,202			
2 経常費用	6,211,718			
(1) 医業費用	6,001,398			
職員給与費	2,366,367	51.6	56.0	59.3
材料費	1,109,167	24.2	24.1	19.3
(うち薬品費)	622,600	13.6	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	482,778	10.5	11.1	9.2
減価償却費	513,413	11.2	9.2	10.3
経費	1,978,516	43.2	23.2	27.6
(うち委託料)	572,705	12.5	11.3	12.3
研究研修費	28,741			
資産減耗費	5,194			
(2) 医業外費用	210,320			
(うち支払利息)	6,312	0.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	9,484			
損益				
経常損益	-984,069			
純損益	-391,559			
累積欠損金	14,705,967			
経常収支比率	84.2		98.2	96.7
医業収支比率	76.3		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	16.3		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	18.6		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	24.9		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	70.4		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,006,615
1 固定資産	5,245,580
(1) 有形固定資産	5,063,991
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	181,589
2 流動資産	761,035
(1) 現金及び預金	95,330
(2) 未収金及び未収収益	649,081
(3) 貸倒引当金（ ）	1,096
(4) 貯蔵品	17,712
3 繰延資産	-
負債合計	8,040,624
1 固定負債	6,087,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,749,916
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,510,606
(6) 引当金	827,210
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,823,892
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	886,087
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	9,450
(5) 引当金	158,726
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	747,346
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	129,000
(1) 長期前受金	467,490
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	338,490
資本合計	-2,034,009
1 資本金	12,646,358
2 剰余金	-14,680,367
(1) 資本剰余金	25,600
(2) 利益剰余金	-14,705,967
負債・資本合計	6,006,615
不良債務	176,770
実質資金不足額	176,770
資本不足額（ ）	2,034,009
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,905,009
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	72.1
修正医業収支金額（千円）	4,327,701

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	853,677	1,453,846
資本勘定繰入	375,199	827,709
計	1,228,876	2,281,555

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	176,770	3.9
29年度	381,831	8.3
28年度	177,721	3.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	321.0
健全化法上の資金不足額（千円）	174,720
健全化法上の資金不足比率（%）	3.8
地財法上の資金不足額（千円）	176,770
地財法上の資金不足比率（%）	3.8

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	芦屋市
	病院名	芦屋病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,045 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	23	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	199	90.9	86.1	87.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	90.9	86.1	87.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	13.1	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	95,350	
決算規模(千円)	43,206,918	
標準財政規模(千円)	22,888,802	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	102.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	97.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.8
修正医業収支金額(千円)	4,659,263

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,340,080			
1 経常収益	5,337,421			
(1) 医業収益	4,920,089			
入院収益	3,169,436			
外来収益	1,084,046			
診療収入計	4,253,482			
その他医業収益	666,607			
(うち他会計負担金)	260,826			
(2) 医業外収益	417,332			
(うち国・都道府県補助金)	4,022			
(うち他会計補助・負担金)	287,105			
(うち長期前受金戻入)	2,142			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,659			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,513,248			
2 経常費用	5,486,420			
(1) 医業費用	5,247,442			
職員給与費	2,413,425	49.1	56.0	61.8
材料費	848,168	17.2	24.1	17.7
(うち薬品費)	447,079	9.1	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	361,249	7.3	11.1	8.2
減価償却費	546,068	11.1	9.2	10.4
経費	1,418,216	28.8	23.2	29.9
(うち委託料)	490,657	10.0	11.3	12.9
研究研修費	13,250			
資産減耗費	8,315			
(2) 医業外費用	238,978			
(うち支払利息)	98,250	2.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	26,828			
損益				
経常損益	-148,999			
純損益	-173,168			
累積欠損金	12,155,450			
経常収支比率	97.3		98.2	96.7
医業収支比率	93.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	87.3		86.0	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,328,846
1 固定資産	5,091,479
(1) 有形固定資産	5,043,304
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	48,175
2 流動資産	1,237,367
(1) 現金及び預金	578,238
(2) 未収金及び未収収益	668,685
(3) 貸倒引当金( )	9,585
(4) 貯蔵品	29
3 繰延資産	-
負債合計	10,932,283
1 固定負債	9,543,928
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,964,368
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,751,810
(6) 引当金	827,750
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,370,778
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	261,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	340,400
(5) 引当金	180,887
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	567,090
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	17,577
(1) 長期前受金	58,549
(2) 長期前受金収益化累計額( )	40,972
資本合計	-4,603,437
1 資本金	7,537,213
2 剰余金	-12,140,650
(1) 資本剰余金	14,800
(2) 利益剰余金	-12,155,450
負債・資本合計	6,328,846
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	4,603,437
資本不足額(繰延収益控除後)( )	4,585,860
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	544,910	547,931
資本勘定繰入	167,448	168,588
計	712,358	716,519

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	247.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	伊丹市
				病院名	伊丹病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	29,295 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨地		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	414	85.5	84.0	81.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	414	85.5	84.0	81.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.2	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	196,883	
決算規模(千円)	69,962,067	
標準財政規模(千円)	40,965,473	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,754,998			
1 経常収益	12,754,998			
(1) 医業収益	11,622,151			
入院収益	7,686,036			
外来収益	3,347,249			
診療収入計	11,033,285			
その他医業収益	588,866			
(うち他会計負担金)	268,136			
(2) 医業外収益	1,132,847			
(うち国・都道府県補助金)	14,974			
(うち他会計補助・負担金)	553,620			
(うち長期前受金戻入)	396,268			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,348,156			
2 経常費用	12,348,156			
(1) 医業費用	11,949,415			
職員給与費	5,900,787	50.8	56.0	54.1
材料費	3,152,509	27.1	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,403,198	12.1	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,683,840	14.5	11.1	12.3
減価償却費	727,411	6.3	9.2	8.3
経費	2,120,794	18.2	23.2	19.0
(うち委託料)	924,918	8.0	11.3	9.1
研究研修費	40,227			
資産減耗費	7,687			
(2) 医業外費用	398,741			
(うち支払利息)	5,925	0.1	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	406,842			
純損益	406,842			
累積欠損金	5,305,785			
経常収支比率	103.3		98.2	99.3
医業収支比率	97.3		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	6.4		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	96.6		86.0	89.4

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,516,697
1 固定資産	8,536,377
(1) 有形固定資産	8,239,951
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	296,426
2 流動資産	2,980,320
(1) 現金及び預金	1,444,616
(2) 未収金及び未収収益	1,520,370
(3) 貸倒引当金( )	7,117
(4) 貯蔵品	22,451
3 繰延資産	-
負債合計	8,566,686
1 固定負債	4,404,492
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,829,166
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	120,000
(6) 引当金	2,437,285
(7) リース債務	18,041
2 流動負債	2,548,994
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	613,751
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	90,000
(5) 引当金	367,177
(6) リース債務	13,009
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,407,050
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,613,200
(1) 長期前受金	9,318,483
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,705,283
資本合計	2,950,011
1 資本金	3,237,565
2 剰余金	-287,554
(1) 資本金剰余金	5,018,231
(2) 利益剰余金	-5,305,785
負債・資本合計	11,516,697
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.0
修正医業収支金額(千円)	11,354,015

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	821,756	821,756
資本勘定繰入	326,938	466,938
計	1,148,694	1,288,694

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	相生市
	病院名	相生市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	61	41.3	41.4	45.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	61	41.3	41.4	45.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	17.8	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	30,129	
決算規模(千円)	12,255,934	
標準財政規模(千円)	7,987,522	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.0
	将来負担比率(%)	103.4

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,423 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.9
修正医業収支金額(千円)	510,099

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	608,632			
1 経常収益	608,632			
(1) 医業収益	515,187			
入院収益	240,682			
外来収益	244,130			
診療収入計	484,812			
その他医業収益	30,375			
(うち他会計負担金)	5,088			
(2) 医業外収益	93,445			
(うち国・都道府県補助金)	675			
(うち他会計補助・負担金)	67,510			
(うち長期前受金戻入)	18,871			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	638,415			
2 経常費用	638,415			
(1) 医業費用	615,228			
職員給与費	264,520	51.3	56.0	71.8
材料費	172,161	33.4	24.1	16.5
(うち薬品費)	154,446	30.0	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,715	3.4	11.1	5.6
減価償却費	33,348	6.5	9.2	12.2
経費	144,885	28.1	23.2	31.2
(うち委託料)	57,698	11.2	11.3	12.3
研究研修費	314			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	23,187			
(うち支払利息)	97	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-29,783			
純損益	-29,783			
累積欠損金	517,663			
経常収支比率	95.3		98.2	97.1
医業収支比率	83.7		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	11.9		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	84.0		86.0	74.9

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	478,262
1 固定資産	306,741
(1) 有形固定資産	306,703
(2) 無形固定資産	30
(3) 投資その他の資産	8
2 流動資産	171,521
(1) 現金及び預金	81,754
(2) 未収金及び未収収益	79,559
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	10,208
3 繰延資産	-
負債合計	388,631
1 固定負債	41,936
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,810
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	13,126
(7) リース債務	-
2 流動負債	122,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,090
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,027
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	82,020
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	224,558
(1) 長期前受金	826,080
(2) 長期前受金収益化累計額( )	601,522
資本合計	89,631
1 資本金	229,343
2 剰余金	-139,712
(1) 資本金剰余金	377,951
(2) 利益剰余金	-517,663
負債・資本合計	478,262
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	100,766	72,598
資本勘定繰入	7,575	7,575
計	108,341	80,173

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	赤穂市
	病院名	赤穂市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	32,991 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
診療科数	21	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	392	59.5	60.9	64.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	396	58.9	60.3	64.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	13.8	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	48,567	
決算規模(千円)	21,051,393	
標準財政規模(千円)	12,313,943	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	84.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.1
	将来負担比率(%)	128.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.5
修正医業収支金額(千円)	7,227,240

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,721,382			
1 経常収益	7,720,041			
(1) 医業収益	7,298,977			
入院収益	4,659,958			
外来収益	2,236,048			
診療収入計	6,896,006			
その他医業収益	402,971			
(うち他会計負担金)	71,737			
(2) 医業外収益	421,064			
(うち国・都道府県補助金)	17,499			
(うち他会計補助・負担金)	355,026			
(うち長期前受金戻入)	13,543			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,341			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,979,794			
2 経常費用	8,976,383			
(1) 医業費用	8,452,418			
職員給与費	4,035,145	55.3	56.0	57.1
材料費	1,783,455	24.4	24.1	23.9
(うち薬品費)	659,367	9.0	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,062,950	14.6	11.1	11.4
減価償却費	697,956	9.6	9.2	9.5
経費	1,894,831	26.0	23.2	22.0
(うち委託料)	839,549	11.5	11.3	10.8
研究研修費	33,367			
資産減耗費	7,664			
(2) 医業外費用	523,965			
(うち支払利息)	152,250	2.1	1.6	1.6
(3) 特別損失	3,411			
損益				
経常損益	-1,256,342			
純損益	-1,258,412			
累積欠損金	4,927,980			
経常収支比率	86.0		98.2	96.7
医業収支比率	86.4		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	5.8		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	5.5		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	81.2		86.0	85.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,030,436
1 固定資産	13,020,798
(1) 有形固定資産	12,443,772
(2) 無形固定資産	2,160
(3) 投資その他の資産	574,866
2 流動資産	2,009,638
(1) 現金及び預金	784,853
(2) 未収金及び未収収益	1,208,062
(3) 貸倒引当金( )	10,514
(4) 貯蔵品	25,531
3 繰延資産	-
負債合計	13,374,896
1 固定負債	9,978,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,135,415
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	842,602
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,152,200
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,202,615
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	258,178
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	850,000
(8) 未払金及び未払費用	794,297
(9) 前受金及び前受収益	47,110
3 繰延収益	244,679
(1) 長期前受金	568,269
(2) 長期前受金収益化累計額( )	323,590
資本合計	1,655,540
1 資本金	6,555,901
2 剰余金	-4,900,361
(1) 資本剰余金	27,619
(2) 利益剰余金	-4,927,980
負債・資本合計	15,030,436
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	497,952	426,763
資本勘定繰入	602,350	538,010
計	1,100,302	964,773

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	67.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	西脇市
				病院名	西脇病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,674 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	320	93.2	86.3	88.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	93.2	86.3	88.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	15.6	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	40,866	
決算規模(千円)	18,844,176	
標準財政規模(千円)	11,797,630	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	2.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.1
修正医業収支金額(千円)	7,257,776

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,371,159			
1 経常収益	8,368,762			
(1) 医業収益	7,424,773			
入院収益	5,395,262			
外来収益	1,678,817			
診療収入計	7,074,079			
その他医業収益	350,694			
(うち他会計負担金)	166,997			
(2) 医業外収益	943,989			
(うち国・都道府県補助金)	30,743			
(うち他会計補助・負担金)	457,312			
(うち長期前受金戻入)	420,048			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,397			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,282,349			
2 経常費用	8,273,238			
(1) 医業費用	8,059,173			
職員給与費	4,106,907	55.3	56.0	57.1
材料費	1,590,207	21.4	24.1	23.9
(うち薬品費)	744,254	10.0	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	845,953	11.4	11.1	11.4
減価償却費	727,626	9.8	9.2	9.5
経費	1,592,668	21.5	23.2	22.0
(うち委託料)	823,707	11.1	11.3	10.8
研究研修費	31,868			
資産減耗費	9,897			
(2) 医業外費用	214,065			
(うち支払利息)	164,376	2.2	1.6	1.6
(3) 特別損失	9,111			
損益				
経常損益	95,524			
純損益	88,810			
累積欠損金	2,011,627			
経常収支比率	101.2		98.2	96.7
医業収支比率	92.1		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	93.6		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,036,821
1 固定資産	9,066,211
(1) 有形固定資産	8,697,855
(2) 無形固定資産	5,468
(3) 投資その他の資産	362,888
2 流動資産	2,970,610
(1) 現金及び預金	1,684,839
(2) 未収金及び未収収益	1,238,593
(3) 貸倒引当金( )	1,418
(4) 貯蔵品	47,876
3 繰延資産	-
負債合計	11,757,189
1 固定負債	10,117,691
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,171,252
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,945,149
(7) リース債務	1,290
2 流動負債	1,411,144
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	672,130
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	232,210
(6) リース債務	620
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	398,987
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	228,354
(1) 長期前受金	3,028,564
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,800,210
資本合計	279,632
1 資本金	1,163,767
2 剰余金	-884,135
(1) 資本金剰余金	1,127,492
(2) 利益剰余金	-2,011,627
負債・資本合計	12,036,821
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	624,309	624,309
資本勘定繰入	375,691	375,691
計	1,000,000	1,000,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	宝塚市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,903 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	30	看護配置	7 : 1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	436	74.1	78.6	78.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	436	74.1	78.6	78.3
平均在院日数（一般病床のみ）		11.2	10.8	10.8

設立団体の状況		
人口（人）	224,903	
決算規模（千円）	75,624,948	
標準財政規模（千円）	43,970,975	
財政力指数	0.89	
経常収支比率（%）	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	3.7
	将来負担比率（%）	22.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	85.9
修正医業収支金額（千円）	9,589,108

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,010,516			
1 経常収益	11,009,700			
(1) 医業収益	10,097,504			
入院収益	6,155,807			
外来収益	3,281,856			
診療収入計	9,437,663			
その他医業収益	659,841			
(うち他会計負担金)	508,396			
(2) 医業外収益	912,196			
(うち国・都道府県補助金)	16,621			
(うち他会計補助・負担金)	487,674			
(うち長期前受金戻入)	25,312			
(うち資本費繰入収益)	270,032			
(3) 特別利益	816			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,647,128			
2 経常費用	11,590,907			
(1) 医業費用	11,166,285			
職員給与費	5,797,847	57.4	56.0	54.1
材料費	2,171,929	21.5	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,202,936	11.9	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	968,993	9.6	11.1	12.3
減価償却費	743,990	7.4	9.2	8.3
経費	2,386,692	23.6	23.2	19.0
(うち委託料)	1,089,218	10.8	11.3	9.1
研究研修費	36,690			
資産減耗費	29,137			
(2) 医業外費用	424,622			
(うち支払利息)	81,869	0.8	1.6	1.5
(3) 特別損失	56,221			
損益				
経常損益	-581,207			
純損益	-636,612			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.0		98.2	99.3
医業収支比率	90.4		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	9.9		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	86.4		86.0	89.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	15,939,891
1 固定資産	13,979,150
(1) 有形固定資産	11,915,592
(2) 無形固定資産	3,192
(3) 投資その他の資産	2,060,366
2 流動資産	1,960,741
(1) 現金及び預金	226,520
(2) 未収金及び未収収益	1,635,007
(3) 貸倒引当金（ ）	1,401
(4) 貯蔵品	100,615
3 繰延資産	-
負債合計	12,491,231
1 固定負債	8,280,230
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,437,358
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,710,000
(6) 引当金	132,872
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,958,386
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	784,147
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	250,000
(5) 引当金	477,007
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,400,000
(8) 未払金及び未払費用	967,235
(9) 前受金及び前受収益	14,259
3 繰延収益	252,615
(1) 長期前受金	957,534
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	704,919
資本合計	3,448,660
1 資本金	2,816,580
2 剰余金	632,080
(1) 資本剰余金	420,935
(2) 利益剰余金	211,145
負債・資本合計	15,939,891
不良債務	1,213,498
実質資金不足額	1,213,498
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	986,395	996,070
資本勘定繰入	323,397	323,397
計	1,309,792	1,319,467

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	1,213,498	12.0
29年度	1,306,613	12.4
28年度	1,115,288	10.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	1,213,551
健全化法上の資金不足比率（%）	12.0
地財法上の資金不足額（千円）	1,213,551
地財法上の資金不足比率（%）	12.0

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	高砂市
	病院名	高砂市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,685 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨地輪
診療科数	21	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	290	46.3	46.4	51.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	46.3	46.4	51.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	15.9	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	91,030	
決算規模(千円)	34,930,464	
標準財政規模(千円)	20,425,872	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	71.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.1
修正医業収支金額(千円)	3,866,346

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,109,754			
1 経常収益	4,467,242			
(1) 医業収益	4,031,862			
入院収益	2,184,643			
外来収益	1,560,380			
診療収入計	3,745,023			
その他医業収益	286,839			
(うち他会計負担金)	165,516			
(2) 医業外収益	435,380			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	160,694			
(うち長期前受金戻入)	248,515			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	642,512			
(うち他会計繰入金)	587,515			
総費用	5,057,907			
2 経常費用	5,057,907			
(1) 医業費用	4,888,684			
職員給与費	2,743,911	68.1	56.0	59.3
材料費	719,489	17.8	24.1	19.3
(うち薬品費)	337,184	8.4	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	352,071	8.7	11.1	9.2
減価償却費	411,487	10.2	9.2	10.3
経費	1,000,438	24.8	23.2	27.6
(うち委託料)	388,040	9.6	11.3	12.3
研究研修費	12,990			
資産減耗費	369			
(2) 医業外費用	169,223			
(うち支払利息)	9,430	0.2	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-590,665			
純損益	51,847			
累積欠損金	7,904,174			
経常収支比率	88.3		98.2	96.7
医業収支比率	82.5		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	17.9		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	81.9		86.0	83.4

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,331,811
1 固定資産	6,113,510
(1) 有形固定資産	5,983,580
(2) 無形固定資産	3,000
(3) 投資その他の資産	126,930
2 流動資産	1,218,301
(1) 現金及び預金	586,920
(2) 未収金及び未収収益	616,012
(3) 貸倒引当金( )	3,600
(4) 貯蔵品	18,969
3 繰延資産	-
負債合計	4,576,027
1 固定負債	2,449,726
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	914,536
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,458,356
(7) リース債務	76,834
2 流動負債	917,981
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	238,694
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	188,110
(6) リース債務	68,792
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	217,680
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,208,320
(1) 長期前受金	2,287,032
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,078,712
資本合計	2,755,784
1 資本金	10,659,958
2 剰余金	-7,904,174
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-7,904,174
負債・資本合計	7,331,811
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資金不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	326,210	913,725
資本勘定繰入	403,839	403,839
計	730,049	1,317,564

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	196.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	川西市
				病院名	川西病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	未	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,540 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	地	輪
診療科数	15	看護配置	7 : 1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	250	62.4	76.4	76.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	62.4	76.4	76.5
平均在院日数（一般病床のみ）		12.3	13.4	13.2

設立団体の状況		
人口（人）	156,375	
決算規模（千円）	56,367,776	
標準財政規模（千円）	30,641,389	
財政力指数	0.73	
経常収支比率（%）	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.7
	将来負担比率（%）	117.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	74.9
修正医業収支金額（千円）	3,765,840

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,605,015			
1 経常収益	5,729,303			
(1) 医業収益	4,020,840			
入院収益	2,606,853			
外来収益	993,266			
診療収入計	3,600,119			
その他医業収益	420,721			
(うち他会計負担金)	255,000			
(2) 医業外収益	1,708,463			
(うち国・都道府県補助金)	3,466			
(うち他会計補助・負担金)	1,515,657			
(うち長期前受金戻入)	142,908			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	875,712			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,379,423			
2 経常費用	5,214,123			
(1) 医業費用	5,028,015			
職員給与費	2,357,302	58.6	56.0	59.3
材料費	741,569	18.4	24.1	19.3
(うち薬品費)	452,227	11.2	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	289,342	7.2	11.1	9.2
減価償却費	240,484	6.0	9.2	10.3
経費	1,667,966	41.5	23.2	27.6
(うち委託料)	549,816	13.7	11.3	12.3
研究研修費	15,699			
資産減耗費	4,995			
(2) 医業外費用	186,108			
(うち支払利息)	11,234	0.3	1.6	1.7
(3) 特別損失	165,300			
損益				
経常損益	515,180			
純損益	1,225,592			
累積欠損金	5,047,500			
経常収支比率	109.9		98.2	96.7
医業収支比率	80.0		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	30.9		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	44.0		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	26.8		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	75.9		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	3,185,305
1 固定資産	2,550,892
(1) 有形固定資産	2,278,593
(2) 無形固定資産	202,403
(3) 投資その他の資産	69,896
2 流動資産	634,413
(1) 現金及び預金	86,198
(2) 未収金及び未収収益	551,460
(3) 貸倒引当金（ ）	3,245
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,259,847
1 固定負債	4,136,069
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,126,647
(2) その他の企業債	126,960
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	192,700
(5) その他の長期借入金	2,400,000
(6) 引当金	106,804
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,414,876
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	209,814
(2) その他の企業債	31,740
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,074
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	450,000
(8) 未払金及び未払費用	657,591
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	708,902
(1) 長期前受金	4,509,925
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	3,801,023
資本合計	-3,074,542
1 資本金	110,184
2 剰余金	-3,184,726
(1) 資本剰余金	1,862,774
(2) 利益剰余金	-5,047,500
負債・資本合計	3,185,305
不良債務	570,649
実質資金不足額	570,649
資金不足額（ ）	3,074,542
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	2,365,640
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	839,586	1,770,657
資本勘定繰入	104,813	118,985
計	944,399	1,889,642

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	570,649	14.2
29年度	788,759	17.0
28年度	879,178	18.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	125.5
健全化法上の資金不足額（千円）	570,649
健全化法上の資金不足比率（%）	14.1
地財法上の資金不足額（千円）	697,609
地財法上の資金不足比率（%）	17.3

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	三田市
	病院名	三田市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,928 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨地
診療科数	19	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	300	81.7	83.8	80.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	81.7	83.8	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		9.8	10.1	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	112,691	
決算規模(千円)	35,414,707	
標準財政規模(千円)	23,019,951	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.9
修正医業収支金額(千円)	7,513,777

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,997,716			
1 経常収益	8,891,046			
(1) 医業収益	7,906,502			
入院収益	5,388,438			
外来収益	1,875,390			
診療収入計	7,263,828			
その他医業収益	642,674			
(うち他会計負担金)	392,725			
(2) 医業外収益	984,544			
(うち国・都道府県補助金)	7,070			
(うち他会計補助・負担金)	660,206			
(うち長期前受金戻入)	220,842			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	106,670			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,857,315			
2 経常費用	8,836,205			
(1) 医業費用	8,355,921			
職員給与費	3,989,111	50.5	56.0	57.1
材料費	1,780,469	22.5	24.1	23.9
(うち薬品費)	616,288	7.8	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,104,649	14.0	11.1	11.4
減価償却費	527,814	6.7	9.2	9.5
経費	2,032,120	25.7	23.2	22.0
(うち委託料)	660,401	8.4	11.3	10.8
研究研修費	20,233			
資産減耗費	6,174			
(2) 医業外費用	480,284			
(うち支払利息)	220,096	2.8	1.6	1.6
(3) 特別損失	21,110			
損益				
経常損益	54,841			
純損益	140,401			
累積欠損金	1,596,387			
経常収支比率	100.6		98.2	96.7
医業収支比率	94.6		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.8		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	88.7		86.0	85.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,376,754
1 固定資産	9,860,045
(1) 有形固定資産	9,557,569
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	302,476
2 流動資産	1,516,709
(1) 現金及び預金	330,651
(2) 未収金及び未収収益	1,105,628
(3) 貸倒引当金( )	3,983
(4) 貯蔵品	81,198
3 繰延資産	-
負債合計	10,086,354
1 固定負債	5,137,936
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,137,936
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,974,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,133,895
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	256,331
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	543,064
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,974,376
(1) 長期前受金	10,879,717
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,905,341
資本合計	1,290,400
1 資本金	793,700
2 剰余金	496,700
(1) 資本剰余金	2,093,087
(2) 利益剰余金	-1,596,387
負債・資本合計	11,376,754
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	909,765	1,052,931
資本勘定繰入	740,451	740,451
計	1,650,216	1,793,382

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	加西市
	病院名	加西病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,166 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感 輪
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	260	74.1	73.5	75.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	266	72.4	71.8	73.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	16.2	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	44,313	
決算規模(千円)	18,609,133	
標準財政規模(千円)	11,554,889	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	72.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,285,319			
1 経常収益	5,284,254			
(1) 医業収益	4,763,886			
入院収益	3,081,166			
外来収益	1,225,518			
診療収入計	4,306,684			
その他医業収益	457,202			
(うち他会計負担金)	255,144			
(2) 医業外収益	520,368			
(うち国・都道府県補助金)	10,708			
(うち他会計補助・負担金)	475,894			
(うち長期前受金戻入)	5,034			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,065			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,644,115			
2 経常費用	5,639,387			
(1) 医業費用	5,460,624			
職員給与費	2,950,158	61.9	56.0	59.3
材料費	840,034	17.6	24.1	19.3
(うち薬品費)	295,287	6.2	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	492,744	10.3	11.1	9.2
減価償却費	299,809	6.3	9.2	10.3
経費	1,319,924	27.7	23.2	27.6
(うち委託料)	576,467	12.1	11.3	12.3
研究研修費	21,210			
資産減耗費	29,489			
(2) 医業外費用	178,763			
(うち支払利息)	36,159	0.8	1.6	1.7
(3) 特別損失	4,728			
損益				
経常損益	-355,133			
純損益	-358,796			
累積欠損金	6,504,467			
経常収支比率	93.7		98.2	96.7
医業収支比率	87.2		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	13.8		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	13.8		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	80.7		86.0	83.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,918,890
1 固定資産	3,137,580
(1) 有形固定資産	3,076,641
(2) 無形固定資産	60
(3) 投資その他の資産	60,879
2 流動資産	781,310
(1) 現金及び預金	29,216
(2) 未収金及び未収収益	743,203
(3) 貸倒引当金( )	2,304
(4) 貯蔵品	10,475
3 繰延資産	-
負債合計	4,765,882
1 固定負債	3,261,914
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,540,603
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	718,171
(7) リース債務	3,140
2 流動負債	1,471,905
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	301,383
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	200,660
(6) リース債務	876
(7) 一時借入金	570,000
(8) 未払金及び未払費用	372,846
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	32,063
(1) 長期前受金	155,485
(2) 長期前受金収益化累計額( )	123,422
資本合計	-846,992
1 資本金	5,636,485
2 剰余金	-6,483,477
(1) 資本剰余金	19,877
(2) 利益剰余金	-6,503,354
負債・資本合計	3,918,890
不良債務	389,212
実質資金不足額	389,212
資金不足額( )	846,992
資本不足額(繰延収益控除後)( )	814,929
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.6
修正医業収支金額(千円)	4,508,742

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	767,586	731,038
資本勘定繰入	168,962	168,962
計	936,548	900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	389,212	8.2
29年度	209,038	4.5
28年度	202,402	4.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.5
健全化法上の資金不足額(千円)	312,365
健全化法上の資金不足比率(%)	6.5
地財法上の資金不足額(千円)	389,212
地財法上の資金不足比率(%)	8.1

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	宍粟市
	病院名	公立宍粟総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	14,078 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ輪
診療科数	12	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	199	62.3	66.1	70.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	62.3	66.1	70.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	15.2	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	37,773	
決算規模(千円)	24,304,868	
標準財政規模(千円)	14,818,977	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	102.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.7
修正医業収支金額(千円)	3,246,215

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,695,904			
1 経常収益	3,695,904			
(1) 医業収益	3,351,056			
入院収益	1,946,938			
外来収益	1,169,501			
診療収入計	3,116,439			
その他医業収益	234,617			
(うち他会計負担金)	104,841			
(2) 医業外収益	344,848			
(うち国・都道府県補助金)	4,264			
(うち他会計補助・負担金)	312,875			
(うち長期前受金戻入)	3,843			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,841,912			
2 経常費用	3,841,912			
(1) 医業費用	3,699,807			
職員給与費	1,932,039	57.7	56.0	61.8
材料費	629,658	18.8	24.1	17.7
(うち薬品費)	287,565	8.6	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	303,398	9.1	11.1	8.2
減価償却費	240,010	7.2	9.2	10.4
経費	883,123	26.4	23.2	29.9
(うち委託料)	228,171	6.8	11.3	12.9
研究研修費	8,195			
資産減耗費	6,782			
(2) 医業外費用	142,105			
(うち支払利息)	45,399	1.4	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-146,008			
純損益	-146,008			
累積欠損金	5,054,913			
経常収支比率	96.2		98.2	96.7
医業収支比率	90.6		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	11.3		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	85.3		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,092,596
1 固定資産	3,416,124
(1) 有形固定資産	3,243,292
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	172,832
2 流動資産	676,472
(1) 現金及び預金	132,545
(2) 未収金及び未収収益	516,075
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	27,852
3 繰延資産	-
負債合計	3,485,856
1 固定負債	2,136,666
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,136,666
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,185,144
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	301,463
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	121,601
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	520,000
(8) 未払金及び未払費用	223,861
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	164,046
(1) 長期前受金	218,427
(2) 長期前受金収益化累計額( )	54,381
資本合計	606,740
1 資本金	5,640,896
2 剰余金	-5,034,156
(1) 資本剰余金	20,757
(2) 利益剰余金	-5,054,913
負債・資本合計	4,092,596
不良債務	207,209
実質資金不足額	207,209
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	410,171	417,716
資本勘定繰入	186,626	208,414
計	596,797	626,130

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	207,209	6.2
29年度	181,023	5.4
28年度	154,110	4.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	150.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	207,209
地財法上の資金不足比率(%)	6.1

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	加東市
	病院名	加東市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,954 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	16	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	139	79.6	73.5	49.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	139	79.6	73.5	49.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.1	21.9

設立団体の状況		
人口(人)	40,310	
決算規模(千円)	19,067,727	
標準財政規模(千円)	11,838,704	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,646,712			
1 経常収益	2,470,993			
(1) 医業収益	1,917,735			
入院収益	1,335,153			
外来収益	384,074			
診療収入計	1,719,227			
その他医業収益	198,508			
(うち他会計負担金)	113,304			
(2) 医業外収益	553,258			
(うち国・都道府県補助金)	422			
(うち他会計補助・負担金)	168,660			
(うち長期前受金戻入)	1,517			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	175,719			
(うち他会計繰入金)	87,058			
総費用	2,522,125			
2 経常費用	2,521,093			
(1) 医業費用	2,101,034			
職員給与費	1,361,207	71.0	56.0	61.8
材料費	259,534	13.5	24.1	17.7
(うち薬品費)	140,086	7.3	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	96,631	5.0	11.1	8.2
減価償却費	118,350	6.2	9.2	10.4
経費	348,682	18.2	23.2	29.9
(うち委託料)	201,159	10.5	11.3	12.9
研究研修費	4,772			
資産減耗費	8,489			
(2) 医業外費用	420,059			
(うち支払利息)	7,279	0.4	1.6	1.7
(3) 特別損失	1,032			
経常損益	-50,100			
純損益	124,587			
累積欠損金	1,854,898			
経常収支比率	98.0		98.2	96.7
医業収支比率	91.3		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	13.9		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	86.8		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,801,598
1 固定資産	1,837,331
(1) 有形固定資産	1,837,331
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	964,267
(1) 現金及び預金	640,536
(2) 未収金及び未収収益	309,252
(3) 貸倒引当金( )	40
(4) 貯蔵品	14,369
3 繰延資産	-
負債合計	1,172,603
1 固定負債	782,512
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	377,758
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	300,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	104,754
2 流動負債	377,909
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,780
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	108,728
(6) リース債務	74,133
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	137,545
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,182
(1) 長期前受金	24,306
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,124
資本合計	1,628,995
1 資本金	3,464,111
2 剰余金	-1,835,116
(1) 資本金剰余金	17,772
(2) 利益剰余金	-1,852,888
負債・資本合計	2,801,598
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.9
修正医業収支金額(千円)	1,804,431

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	281,964	369,022
資本勘定繰入	66,495	83,811
計	348,459	452,833

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	96.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	たつの市
	病院名	たつの市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,263 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	19	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	120	84.5	78.7	76.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	84.5	78.7	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	18.0	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	77,419	
決算規模(千円)	35,805,115	
標準財政規模(千円)	21,025,494	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	15.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.0
修正医業収支金額(千円)	1,599,415

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,252,214			
1 経常収益	2,252,214			
(1) 医業収益	1,651,551			
入院収益	1,162,175			
外来収益	353,072			
診療収入計	1,515,247			
その他医業収益	136,304			
(うち他会計負担金)	52,136			
(2) 医業外収益	600,663			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	267,101			
(うち長期前受金戻入)	149,283			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,139,073			
2 経常費用	2,139,073			
(1) 医業費用	1,882,349			
職員給与費	1,237,404	74.9	56.0	61.8
材料費	180,604	10.9	24.1	17.7
(うち薬品費)	65,353	4.0	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	88,350	5.3	11.1	8.2
減価償却費	149,414	9.0	9.2	10.4
経費	310,529	18.8	23.2	29.9
(うち委託料)	168,723	10.2	11.3	12.9
研究研修費	3,705			
資産減耗費	693			
(2) 医業外費用	256,724			
(うち支払利息)	8,405	0.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	113,141			
純損益	113,141			
累積欠損金	293,204			
経常収支比率	105.3		98.2	96.7
医業収支比率	87.7		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	19.3		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	14.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	90.4		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,999,022
1 固定資産	1,612,132
(1) 有形固定資産	1,612,132
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	386,890
(1) 現金及び預金	114,887
(2) 未収金及び未収収益	268,964
(3) 貸倒引当金( )	1,559
(4) 貯蔵品	4,598
3 繰延資産	-
負債合計	2,236,137
1 固定負債	728,684
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	519,719
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	208,965
(7) リース債務	-
2 流動負債	357,283
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	41,809
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,161
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	160,000
(8) 未払金及び未払費用	71,479
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,150,170
(1) 長期前受金	2,286,482
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,136,312
資本合計	-237,115
1 資本金	54,589
2 剰余金	-291,704
(1) 資本剰余金	1,500
(2) 利益剰余金	-293,204
負債・資本合計	1,999,022
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	237,115
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	287,474	319,237
資本勘定繰入	17,249	42,763
計	304,723	362,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	68,182	4.3
28年度	185,812	13.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	神河町
	病院名	公立神崎総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,794 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨
診療科数	17	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	140	72.0	70.8	73.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	72.0	70.8	73.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	21.3	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	11,452	
決算規模(千円)	9,851,781	
標準財政規模(千円)	4,965,110	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.3
	将来負担比率(%)	56.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.1
修正医業収支金額(千円)	2,427,306

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,051,437			
1 経常収益	3,051,437			
(1) 医業収益	2,639,132			
入院収益	1,397,543			
外来収益	863,911			
診療収入計	2,261,454			
その他医業収益	377,678			
(うち他会計負担金)	211,826			
(2) 医業外収益	412,305			
(うち国・都道府県補助金)	315			
(うち他会計補助・負担金)	388,189			
(うち長期前受金戻入)	794			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,055,364			
2 経常費用	3,055,364			
(1) 医業費用	2,957,293			
職員給与費	2,045,847	77.5	56.0	61.8
材料費	341,790	13.0	24.1	17.7
(うち薬品費)	96,695	3.7	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	217,453	8.2	11.1	8.2
減価償却費	217,439	8.2	9.2	10.4
経費	337,144	12.8	23.2	29.9
(うち委託料)	145,820	5.5	11.3	12.9
研究研修費	10,073			
資産減耗費	5,000			
(2) 医業外費用	98,071			
(うち支払利息)	29,732	1.1	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-3,927			
純損益	-3,927			
累積欠損金	898,034			
経常収支比率	99.9		98.2	96.7
医業収支比率	89.2		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	19.7		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.7		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	19.7		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	80.2		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,883,919
1 固定資産	5,243,277
(1) 有形固定資産	5,069,855
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	173,422
2 流動資産	1,640,642
(1) 現金及び預金	1,244,034
(2) 未収金及び未収収益	383,269
(3) 貸倒引当金( )	1,644
(4) 貯蔵品	14,983
3 繰延資産	-
負債合計	4,951,917
1 固定負債	2,953,159
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,953,159
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,984,090
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	345,226
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	68,352
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,545,302
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,668
(1) 長期前受金	55,157
(2) 長期前受金収益化累計額( )	40,489
資本合計	1,932,002
1 資本金	2,830,036
2 剰余金	-898,034
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-898,034
負債・資本合計	6,883,919
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	629,703	600,015
資本勘定繰入	100,000	768,541
計	729,703	1,368,556

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	香美町
				病院名	公立香住病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,150 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	7	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	60.1	65.0	59.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	60.1	65.0	59.8
平均在院日数（一般病床のみ）		23.1	21.3	22.2

設立団体の状況		
人口（人）	18,070	
決算規模（千円）	14,545,890	
標準財政規模（千円）	8,345,084	
財政力指数	0.24	
経常収支比率（%）	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.5
	将来負担比率（%）	77.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	76.7
修正医業収支金額（千円）	719,506

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,173,692			
1 経常収益	1,173,614			
(1) 医業収益	767,764			
入院収益	286,198			
外来収益	382,977			
診療収入計	669,175			
その他医業収益	98,589			
(うち他会計負担金)	48,258			
(2) 医業外収益	405,850			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	176,087			
(うち長期前受金戻入)	274			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	78			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,225,301			
2 経常費用	1,220,660			
(1) 医業費用	937,830			
職員給与費	507,427	66.1	56.0	71.8
材料費	107,442	14.0	24.1	16.5
(うち薬品費)	52,451	6.8	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,783	7.1	11.1	5.6
減価償却費	76,632	10.0	9.2	12.2
経費	243,751	31.7	23.2	31.2
(うち委託料)	92,151	12.0	11.3	12.3
研究研修費	2,243			
資産減耗費	335			
(2) 医業外費用	282,830			
(うち支払利息)	7,655	1.0	1.6	1.9
(3) 特別損失	4,641			
損益				
経常損益	-47,046			
純損益	-51,609			
累積欠損金	2,818,174			
経常収支比率	96.1		98.2	97.1
医業収支比率	81.9		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	19.1		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	29.2		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	19.1		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	77.8		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,516,988
1 固定資産	1,320,347
(1) 有形固定資産	1,281,748
(2) 無形固定資産	2,108
(3) 投資その他の資産	36,491
2 流動資産	196,641
(1) 現金及び預金	45,236
(2) 未収金及び未収収益	146,606
(3) 貸倒引当金（ ）	125
(4) 貯蔵品	4,357
3 繰延資産	-
負債合計	654,789
1 固定負債	322,872
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	322,872
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	329,192
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	154,017
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,811
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	80,000
(8) 未払金及び未払費用	44,486
(9) 前受金及び前受収益	102
3 繰延収益	2,725
(1) 長期前受金	15,348
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	12,623
資本合計	862,199
1 資本金	3,661,173
2 剰余金	-2,798,974
(1) 資本剰余金	19,200
(2) 利益剰余金	-2,818,174
負債・資本合計	1,516,988
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	140,204	224,345
資本勘定繰入	107,035	116,815
計	247,239	341,160

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	367.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	新温泉町
	病院名	浜坂病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,986 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	7	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	49	75.5	57.3	55.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	75.5	57.3	55.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	20.1	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	14,819	
決算規模(千円)	10,041,584	
標準財政規模(千円)	6,200,758	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	85.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	72.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.1
修正医業収支金額(千円)	599,288

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,417,408			
1 経常収益	1,145,949			
(1) 医業収益	644,666			
入院収益	378,540			
外来収益	178,139			
診療収入計	556,679			
その他医業収益	87,987			
(うち他会計負担金)	45,378			
(2) 医業外収益	501,283			
(うち国・都道府県補助金)	1,000			
(うち他会計補助・負担金)	110,487			
(うち長期前受金戻入)	768			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	271,459			
(うち他会計繰入金)	210,000			
総費用	1,333,721			
2 経常費用	1,333,721			
(1) 医業費用	842,989			
職員給与費	487,996	75.7	56.0	81.3
材料費	70,410	10.9	24.1	14.4
(うち薬品費)	43,594	6.8	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,816	4.2	11.1	5.1
減価償却費	35,235	5.5	9.2	13.4
経費	244,979	38.0	23.2	47.5
(うち委託料)	71,191	11.0	11.3	20.0
研究研修費	2,007			
資産減耗費	2,362			
(2) 医業外費用	490,732			
(うち支払利息)	2,506	0.4	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-187,772			
純損益	83,687			
累積欠損金	4,004,208			
経常収支比率	85.9		98.2	96.3
医業収支比率	76.5		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.6		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	24.2		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	25.8		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	74.2		86.0	64.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,638,297
1 固定資産	1,126,617
(1) 有形固定資産	1,125,370
(2) 無形固定資産	1,176
(3) 投資その他の資産	71
2 流動資産	511,680
(1) 現金及び預金	299,024
(2) 未収金及び未収収益	157,607
(3) 貸倒引当金( )	542
(4) 貯蔵品	12,755
3 繰延資産	-
負債合計	2,071,178
1 固定負債	1,505,828
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	542,419
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	438,100
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	503,105
(7) リース債務	22,204
2 流動負債	543,805
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,680
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	134,336
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,740
(6) リース債務	10,550
(7) 一時借入金	230,000
(8) 未払金及び未払費用	54,036
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	21,545
(1) 長期前受金	150,240
(2) 長期前受金収益化累計額( )	128,695
資本合計	-432,881
1 資本金	3,486,186
2 剰余金	-3,919,067
(1) 資本剰余金	85,141
(2) 利益剰余金	-4,004,208
負債・資本合計	1,638,297
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	432,881
資本不足額(繰延収益控除後)( )	411,336
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	154,858	365,865
資本勘定繰入	25,881	168,107
計	180,739	533,972

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	30,353	5.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	621.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	公立豊岡病院組合
	病院名	公立豊岡病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	463	88.0	91.1	88.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	51	60.9	74.2	66.4
感染症	4	-	-	-
計	518	84.6	88.8	85.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	14.1	13.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	42,303 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災地
診療科数	28	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.9
修正医業収支金額(千円)	13,735,385

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,105,741			
1 経常収益	16,105,452			
(1) 医業収益	13,941,694			
入院収益	9,539,109			
外来収益	3,850,947			
診療収入計	13,390,056			
その他医業収益	551,638			
(うち他会計負担金)	206,309			
(2) 医業外収益	2,163,758			
(うち国・都道府県補助金)	371,222			
(うち他会計補助・負担金)	1,009,130			
(うち長期前受金戻入)	97,820			
(うち資本費繰入収益)	580,215			
(3) 特別利益	289			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,686,786			
2 経常費用	16,685,773			
(1) 医業費用	15,812,408			
職員給与費	7,287,636	52.3	56.0	49.8
材料費	3,945,751	28.3	24.1	28.0
(うち薬品費)	1,846,544	13.2	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,007,953	14.4	11.1	12.8
減価償却費	1,390,709	10.0	9.2	8.3
経費	3,100,170	22.2	23.2	20.7
(うち委託料)	1,188,149	8.5	11.3	11.4
研究研修費	71,576			
資産減耗費	16,566			
(2) 医業外費用	873,365			
(うち支払利息)	206,600	1.5	1.6	1.4
(3) 特別損失	1,013			
損益				
経常損益	-580,321			
純損益	-581,045			
累積欠損金	1,251,491			
経常収支比率	96.5		98.2	99.5
医業収支比率	88.2		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	89.2		86.0	90.4

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	29,286,836
1 固定資産	25,953,135
(1) 有形固定資産	24,282,652
(2) 無形固定資産	31,132
(3) 投資その他の資産	1,639,351
2 流動資産	3,333,701
(1) 現金及び預金	61,396
(2) 未収金及び未収収益	3,157,010
(3) 貸倒引当金( )	1,570
(4) 貯蔵品	110,815
3 繰延資産	-
負債合計	30,873,748
1 固定負債	24,558,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,051,113
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	133,221
(6) 引当金	2,372,998
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,244,673
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,064,661
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	611,999
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	700,000
(8) 未払金及び未払費用	1,785,041
(9) 前受金及び前受収益	3,151
3 繰延収益	1,070,743
(1) 長期前受金	2,327,627
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,256,884
資本合計	-1,586,912
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-4,365,734
(1) 資本金剰余金	716,285
(2) 利益剰余金	-5,082,019
負債・資本合計	29,286,836
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	1,586,912
資本不足額(繰延収益控除後)( )	516,169
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,215,439	1,215,439
資本勘定繰入	717,167	717,167
計	1,932,606	1,932,606

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	公立豊岡病院組合
				病院名	公立豊岡病院日高医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,099 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	63	41.3	33.1	48.6
療養	36	-	11.6	52.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	26.3	25.3	50.2
平均在院日数（一般病床のみ）		6.5	5.1	5.1

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	-	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	-	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	86.8
修正医業収支金額（千円）	1,610,391

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,874,374			
1 経常収益	1,874,374			
(1) 医業収益	1,610,391			
入院収益	440,259			
外来収益	1,108,945			
診療収入計	1,549,204			
その他医業収益	61,187			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	263,983			
(うち国・都道府県補助金)	714			
(うち他会計補助・負担金)	158,472			
(うち長期前受金戻入)	173			
(うち資本費繰入収益)	67,541			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,003,225			
2 経常費用	2,003,145			
(1) 医業費用	1,855,830			
職員給与費	907,113	56.3	56.0	71.8
材料費	455,926	28.3	24.1	16.5
(うち薬品費)	262,360	16.3	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	186,925	11.6	11.1	5.6
減価償却費	121,622	7.6	9.2	12.2
経費	360,642	22.4	23.2	31.2
(うち委託料)	96,158	6.0	11.3	12.3
研究研修費	10,188			
資産減耗費	339			
(2) 医業外費用	147,315			
(うち支払利息)	14,874	0.9	1.6	1.9
(3) 特別損失	80			
損益				
経常損益	-128,771			
純損益	-128,851			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.6		98.2	97.1
医業収支比率	86.8		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	8.5		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	85.7		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	29,286,836
1 固定資産	25,953,135
(1) 有形固定資産	24,282,652
(2) 無形固定資産	31,132
(3) 投資その他の資産	1,639,351
2 流動資産	3,333,701
(1) 現金及び預金	61,396
(2) 未収金及び未収収益	3,157,010
(3) 貸倒引当金（ ）	1,570
(4) 貯蔵品	110,815
3 繰延資産	-
負債合計	30,873,748
1 固定負債	24,558,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,051,113
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	133,221
(6) 引当金	2,372,998
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,244,673
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,064,661
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	611,999
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	700,000
(8) 未払金及び未払費用	1,785,041
(9) 前受金及び前受収益	3,151
3 繰延収益	1,070,743
(1) 長期前受金	2,327,627
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,256,884
資本合計	-1,586,912
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-4,365,734
(1) 資本金剰余金	716,285
(2) 利益剰余金	-5,082,019
負債・資本合計	29,286,836
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	516,169
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,472	158,472
資本勘定繰入	73,214	73,214
計	231,686	231,686

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	28.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	公立豊岡病院組合
				病院名	公立豊岡病院出石医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,574 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	6	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	55	54.3	59.9	53.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	54.3	59.9	53.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	17.4	18.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.5
修正医業収支金額(千円)	473,949

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	726,379			
1 経常収益	726,379			
(1) 医業収益	497,870			
入院収益	299,920			
外来収益	139,774			
診療収入計	439,694			
その他医業収益	58,176			
(うち他会計負担金)	23,921			
(2) 医業外収益	228,509			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	172,035			
(うち長期前受金戻入)	2,106			
(うち資本費繰入収益)	50,630			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	725,943			
2 経常費用	725,914			
(1) 医業費用	691,452			
職員給与費	447,590	89.9	56.0	71.8
材料費	55,948	11.2	24.1	16.5
(うち薬品費)	20,995	4.2	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,816	5.4	11.1	5.6
減価償却費	37,673	7.6	9.2	12.2
経費	146,745	29.5	23.2	31.2
(うち委託料)	29,071	5.8	11.3	12.3
研究研修費	2,578			
資産減耗費	918			
(2) 医業外費用	34,462			
(うち支払利息)	15,446	3.1	1.6	1.9
(3) 特別損失	29			
損益				
経常損益	465			
純損益	436			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.1		98.2	97.1
医業収支比率	72.0		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	27.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	39.4		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	27.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	73.1		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	29,286,836
1 固定資産	25,953,135
(1) 有形固定資産	24,282,652
(2) 無形固定資産	31,132
(3) 投資その他の資産	1,639,351
2 流動資産	3,333,701
(1) 現金及び預金	61,396
(2) 未収金及び未収収益	3,157,010
(3) 貸倒引当金( )	1,570
(4) 貯蔵品	110,815
3 繰延資産	-
負債合計	30,873,748
1 固定負債	24,558,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,051,113
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	133,221
(6) 引当金	2,372,998
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,244,673
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,064,661
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	611,999
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	700,000
(8) 未払金及び未払費用	1,785,041
(9) 前受金及び前受収益	3,151
3 繰延収益	1,070,743
(1) 長期前受金	2,327,627
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,256,884
資本合計	-1,586,912
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-4,365,734
(1) 資本金剰余金	716,285
(2) 利益剰余金	-5,082,019
負債・資本合計	29,286,836
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	1,586,912
資本不足額(繰延収益控除後)( )	516,169
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	195,956	195,956
資本勘定繰入	51,525	51,525
計	247,481	247,481

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	公立豊岡病院組合
				病院名	公立朝来医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,699 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	11	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一 般	104	80.4	62.4	66.7
療 養	46	27.3	57.0	63.6
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	150	64.1	60.8	65.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	18.0	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.0
修正医業収支金額(千円)	1,547,699

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	2,229,813			
1 経 常 収 益	1,986,060			
(1) 医 業 収 益	1,577,243			
入 院 収 益	1,048,244			
外 来 収 益	446,040			
診 療 収 入 計	1,494,284			
そ の 他 医 業 収 益	82,959			
(うち他会計負担金)	29,544			
(2) 医 業 外 収 益	408,817			
(うち国・都道府県補助金)	381			
(うち他会計補助・負担金)	198,254			
(うち長期前受金戻入)	1,269			
(うち資本費繰入収益)	200,625			
(3) 特 別 利 益	243,753			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	2,776,529			
2 経 常 費 用	2,346,108			
(1) 医 業 費 用	2,211,452			
職 員 給 与 費	1,143,463	72.5	56.0	61.8
材 料 費	221,648	14.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	82,636	5.2	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	112,870	7.2	11.1	8.2
減 価 償 却 費	359,567	22.8	9.2	10.4
経 費	480,067	30.4	23.2	29.9
(うち委託料)	215,676	13.7	11.3	12.9
研 究 研 修 費	6,668			
資 産 減 耗 費	39			
(2) 医 業 外 費 用	134,656			
(うち支払利息)	41,634	2.6	1.6	1.7
(3) 特 別 損 失	430,421			
損 益				
経 常 損 益	-360,048			
純 損 益	-546,716			
累 積 欠 損 金	8,127,090			
経 常 収 支 比 率	84.7		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	71.3		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	14.4		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	74.9		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	29,286,836
1 固 定 資 産	25,953,135
(1) 有 形 固 定 資 産	24,282,652
(2) 無 形 固 定 資 産	31,132
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	1,639,351
2 流 動 資 産	3,333,701
(1) 現 金 及 び 預 金	61,396
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	3,157,010
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	1,570
(4) 貯 蔵 品	110,815
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	30,873,748
1 固 定 負 債	24,558,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,051,113
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	133,221
(6) 引 当 金	2,372,998
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	5,244,673
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,064,661
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	611,999
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	700,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	1,785,041
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	3,151
3 繰 延 収 益	1,070,743
(1) 長 期 前 受 金	2,327,627
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	1,256,884
資 本 合 計	-1,586,912
1 資 本 金	2,778,822
2 剰 余 金	-4,365,734
(1) 資 本 剰 余 金	716,285
(2) 利 益 剰 余 金	-5,082,019
負 債 ・ 資 本 合 計	29,286,836
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ( )	1,586,912
資本不足額(繰延収益控除後) ( )	516,169
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収益勘定繰入	227,798	227,798
資本勘定繰入	200,625	200,625
計	428,423	428,423

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
30 年 度	-	-
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	28.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	公立八鹿病院組合
	病院名	公立八鹿病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	35,498 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災地輪
診療科数	22	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	338	65.7	62.9	67.2
療養	35	64.3	51.6	62.2
結核	7	11.0	20.8	13.6
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	64.5	60.7	65.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	20.4	18.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.0
修正医業収支金額(千円)	5,676,873

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,546,844			
1 経常収益	7,546,451			
(1) 医業収益	5,678,643			
入院収益	3,957,448			
外来収益	1,482,396			
診療収入計	5,439,844			
その他医業収益	238,799			
(うち他会計負担金)	1,770			
(2) 医業外収益	1,867,808			
(うち国・都道府県補助金)	3,038			
(うち他会計補助・負担金)	384,566			
(うち長期前受金戻入)	467,486			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	393			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,303,935			
2 経常費用	8,301,767			
(1) 医業費用	6,923,726			
職員給与費	3,906,755	68.8	56.0	57.1
材料費	952,271	16.8	24.1	23.9
(うち薬品費)	491,369	8.7	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	391,327	6.9	11.1	11.4
減価償却費	760,199	13.4	9.2	9.5
経費	1,272,878	22.4	23.2	22.0
(うち委託料)	489,387	8.6	11.3	10.8
研究研修費	17,878			
資産減耗費	13,745			
(2) 医業外費用	1,378,041			
(うち支払利息)	154,894	2.7	1.6	1.6
(3) 特別損失	2,168			
損益				
経常損益	-755,316			
純損益	-757,091			
累積欠損金	1,331,881			
経常収支比率	90.9		98.2	96.7
医業収支比率	82.0		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	5.1		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	86.2		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,952,491
1 固定資産	15,658,463
(1) 有形固定資産	13,433,935
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	2,220,544
2 流動資産	3,294,028
(1) 現金及び預金	2,065,955
(2) 未収金及び未収収益	1,130,346
(3) 貸倒引当金( )	4,059
(4) 貯蔵品	87,088
3 繰延資産	-
負債合計	12,481,948
1 固定負債	9,721,284
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,308,750
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,402,111
(7) リース債務	10,423
2 流動負債	1,982,257
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	822,255
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	597,340
(6) リース債務	3,913
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	502,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	778,407
(1) 長期前受金	3,588,464
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,810,057
資本合計	6,470,543
1 資本金	7,747,218
2 剰余金	-1,276,675
(1) 資本剰余金	1,408
(2) 利益剰余金	-1,278,083
負債・資本合計	18,952,491
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	436,095	386,336
資本勘定繰入	464,238	501,472
計	900,333	887,808

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	兵庫県
	市町村・組合名	公立八鹿病院組合
	病院名	公立村岡病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	42	52.4	59.9	50.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	52.4	59.9	50.8
平均在院日数(一般病床のみ)		6.6	9.8	11.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,995 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.2
修正医業収支金額(千円)	455,654

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	596,362			
1 経常収益	596,283			
(1) 医業収益	455,654			
入院収益	241,966			
外来収益	203,123			
診療収入計	445,089			
その他医業収益	10,565			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	140,629			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	78,886			
(うち長期前受金戻入)	14,373			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	79			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	599,411			
2 経常費用	599,282			
(1) 医業費用	547,735			
職員給与費	354,998	77.9	56.0	81.3
材料費	94,086	20.6	24.1	14.4
(うち薬品費)	72,042	15.8	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,746	3.7	11.1	5.1
減価償却費	31,767	7.0	9.2	13.4
経費	64,637	14.2	23.2	47.5
(うち委託料)	25,977	5.7	11.3	20.0
研究研修費	1,296			
資産減耗費	951			
(2) 医業外費用	51,547			
(うち支払利息)	498	0.1	1.6	1.4
(3) 特別損失	129			
損益				
経常損益	-2,999			
純損益	-3,049			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.5		98.2	96.3
医業収支比率	83.2		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.3		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	86.3		86.0	64.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,952,491
1 固定資産	15,658,463
(1) 有形固定資産	13,433,935
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	2,220,544
2 流動資産	3,294,028
(1) 現金及び預金	2,065,955
(2) 未収金及び未収収益	1,130,346
(3) 貸倒引当金( )	4,059
(4) 貯蔵品	87,088
3 繰延資産	-
負債合計	12,481,948
1 固定負債	9,721,284
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,308,750
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,402,111
(7) リース債務	10,423
2 流動負債	1,982,257
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	822,255
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	597,340
(6) リース債務	3,913
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	502,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	778,407
(1) 長期前受金	3,588,464
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,810,057
資本合計	6,470,543
1 資本金	7,747,218
2 剰余金	-1,276,675
(1) 資本剰余金	1,408
(2) 利益剰余金	-1,278,083
負債・資本合計	18,952,491
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	94,436	78,886
資本勘定繰入	12,359	11,915
計	106,795	90,801

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	兵庫県
				市町村・組合名	北播磨総合医療センター企業団
				病院名	北播磨総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,109 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨地輪		
診療科数	34	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	450	88.9	87.9	89.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	88.9	87.9	89.9
平均在院日数（一般病床のみ）		12.2	12.5	13.4

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	-	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	-	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	91.8
修正医業収支金額（千円）	14,911,593

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,308,395			
1 経常収益	17,266,944			
(1) 医業収益	15,197,932			
入院収益	10,687,234			
外来収益	3,870,307			
診療収入計	14,557,541			
その他医業収益	640,391			
(うち他会計負担金)	286,339			
(2) 医業外収益	2,069,012			
(うち国・都道府県補助金)	20,643			
(うち他会計補助・負担金)	1,261,198			
(うち長期前受金戻入)	675,334			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,451			
(うち他会計繰入金)	40,000			
総費用	17,100,327			
2 経常費用	16,928,446			
(1) 医業費用	16,248,492			
職員給与費	6,797,138	44.7	56.0	54.1
材料費	4,763,619	31.3	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,760,934	11.6	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,907,551	19.1	11.1	12.3
減価償却費	1,606,439	10.6	9.2	8.3
経費	2,996,662	19.7	23.2	19.0
(うち委託料)	1,406,953	9.3	11.3	9.1
研究研修費	77,070			
資産減耗費	7,564			
(2) 医業外費用	679,954			
(うち支払利息)	119,368	0.8	1.6	1.5
(3) 特別損失	171,881			
損益				
経常損益	338,498			
純損益	208,068			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.0		98.2	99.3
医業収支比率	93.5		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	10.2		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	92.9		86.0	89.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	19,239,828
1 固定資産	14,219,107
(1) 有形固定資産	13,263,257
(2) 無形固定資産	218,549
(3) 投資その他の資産	737,301
2 流動資産	5,020,721
(1) 現金及び預金	2,537,446
(2) 未収金及び未収収益	2,390,300
(3) 貸倒引当金（ ）	6,045
(4) 貯蔵品	94,851
3 繰延資産	-
負債合計	18,248,342
1 固定負債	10,521,504
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,060,344
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,461,160
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,812,648
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	755,978
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	485,756
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,507,400
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,914,190
(1) 長期前受金	8,140,770
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	4,226,580
資本合計	991,486
1 資本金	428,387
2 剰余金	563,099
(1) 資本金剰余金	451,593
(2) 利益剰余金	111,506
負債・資本合計	19,239,828
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,439,907	1,587,537
資本勘定繰入	417,689	12,463
計	1,857,596	1,600,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。